



熊谷市長（左）に活躍を誓う関川（右）26日午後、八戸市庁

スポクラW杯 活躍誓う

4月から9月まで世界各国で開かれている「IFSCスポックライミングワールドカップ2023」に出場中の関川愛音（めろでい）（八学光星1年）が26日、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長にこれまで出場した3戦の結果を報告し、6月に控える3戦での活躍を誓った。

ボルダー、リード種目ともにワールドカップへの出場権を獲得している関川は、4月のボルダー第1戦（東京）を皮切りに、同月の同第2戦（韓国）、5月の同第3戦（アメリカ）に出場。出場選手の中で最年少ながらもそれぞれ予選を通過し、16位、12位、20

関川（光星）八戸市長を訪問

位の成績を収めている。

26日、同校の木村一夫校長補佐と訪問した関川は「準決勝に進出したことはうれしい」とこれまでの3戦の結果を喜びながらも「準決勝になると課題（コース）が難しく、気持ちで負けていた。次戦からはうまく気持ちを切り替えて登りたい」と意気込んだ。熊谷市長は「若い頃から世界を見ることができるとはいい経験。八戸からみんなを応援している」とエールを送った。関川選手は現在、ボルダー第4戦（チェコ）、同第5戦（イタリア）、同第6戦（オーストリア）の出場が決まっている。（棟方好華）